

北九州市の現状
【統計データ】

令和5年7月
北九州市

統計データ等による北九州市の現状について【主なポイント一覧】

1. 人口の状況について【スライド1～】

- 北九州市の人口は、昭和54年の約106万8千人をピークに減少が続く。
【スライド2参照】
- 将来推計人口は、令和27年には77万1千人と予測。【スライド4参照】
- 自然動態は、出生数の減少、死亡数の増加により、マイナス幅は拡大傾向。
【スライド5参照】
- 合計特殊出生率は、政令市でトップクラスである一方、出生率は、政令市の中で中位。
【スライド6・7参照】
- 死亡率は、政令市の中でトップ。【スライド8参照】
- 婚姻件数、婚姻率ともに減少傾向であり、婚姻率は政令市の中で中位。
【スライド9・10参照】
- 未婚率は男性・女性ともに各年代で上昇傾向。【スライド11・12参照】
- 転入者数と転出者数の差である社会動態は、改善傾向である一方、日本人の20～30代は転出超過。【スライド14・15参照】
- 北九州市地域の大学卒業者の市内就職率は、毎年2割程度。【スライド16参照】
- 日本人の地域別の社会動態では、福岡市と東京圏でマイナス幅が大きく、福岡市を除く福岡県内もマイナス。【スライド17参照】

2. 産業の状況について【スライド19～】

- 市内総生産額は、ここ数年は約3兆8千億円で推移しているが、増加率では16政令市の中で15番目。【スライド20・21参照】
- 市内総生産額全体における第3次産業の割合は、16政令市の中で14番目。
【スライド22参照】
- 1人平均月間現金給与額が他の産業より低い傾向にある「運輸業、郵便業」「医療、福祉」などが、集積している。
- 一方で、給与額が高い傾向にある「情報通信業」「金融業、保険業」「学術研究、専門サービス業」などは、集積していない。【スライド23・24参照】
- 第1～3次産業すべての従事者数が、減少傾向。【スライド25参照】
- 1人当たりの雇用者報酬は、16政令市の中で13番目、また、雇用者報酬の増加率は、本市のみマイナス。【スライド33参照】
- 1人当たりの課税対象所得額は、政令市の中で最下位。【スライド34参照】
- 15歳以上人口における労働力人口の比率は、政令市の中で最下位。
【スライド35参照】
- 次世代エネルギーの集積、地震の少なさ、安価な工業用水、理系人材の輩出などのポテンシャルを生かし、企業誘致を活発に展開。【スライド37～40参照】

3. 賑わい等の状況について【スライド41～】

- 地価公示の平均価格の上昇率は、政令市の中で、商業地は16番目、住宅地は最下位。
【スライド44・45参照】
- 小売業の事業所数および年間商品販売額は、減少傾向。【スライド46参照】
- 世帯当たりの消費支出金額は、政令市の中で最下位。【スライド47参照】
- コロナ以前は、延べの観光客数は2,500万人前後、宿泊観光客数は190万人前後で推移。【スライド49・50参照】
- コロナ以前は、観光消費額は1,300～1,400億円程度で推移。
【スライド52参照】
- ホテル・旅館の施設数および客室数は、いずれも減少傾向。【スライド53参照】

4. 安全・安心の状況について【スライド57～】

- 自治組織加入率は、減少傾向。【スライド58参照】
- 刑法犯罪認知件数は、減少傾向。人口千人当たりの認知件数は、政令市の中で7番目。【スライド59・60参照】

5. 福祉・医療の状況について【スライド61～】

- 高齢化率は、増加傾向にあり、全国平均よりも高く、令和27年には37.8%と予測。【スライド62参照】
- 健康寿命は、政令市の中で、男性は18番目、女性は5番目。【スライド64参照】
- 生活習慣病による人口10万人当たりの死亡者数は、政令市の中でトップ。【スライド65参照】
- 人口1,000人当たりの要介護・要支援認定者数は、政令市の中でトップ。【スライド66参照】
- 独居老人の世帯が一般世帯に占める比率は、政令市の中でトップ。【スライド67参照】
- 障害のある人は、身体障害のある人は減少傾向、知的障害や精神障害のある人は増加傾向。【スライド68参照】
- 人口10万人当たりの一般病院数および病床数ともに、政令市の中で3番目。【スライド69参照】
- 高齢者10万人当たりの介護サービス事業所数は、政令市の中で9番目。【スライド70参照】

6. 文化・スポーツ・教育の状況について【スライド72～】

- 文化芸術またはスポーツに親しむ機会に恵まれていると感じている市民の割合は、40～50%で推移。【スライド73参照】
- 全国学力・学習状況調査において、小学生・中学生ともに、算数（数学）の平均正答率は、政令市の中で下位に位置。【スライド74・75参照】
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、小学生・中学生の男子・女子ともに、体力合計点は、政令市の中で上位に位置。【スライド76～79参照】

7. 住環境の状況について【スライド80～】

- 着工新設住宅戸数は、政令市の中で13番目。【スライド81参照】
- 建築時期が昭和55年以前の住宅の割合は、政令市の中で2番目。【スライド82参照】
- 住宅総数に占める空き家の割合は、政令市の中で2番目。【スライド83参照】

8. 財政の状況について【スライド84～】

- 一般会計の歳入決算における、自主財源の割合は40～50%程度、市税の割合は30%程度で推移。【スライド85参照】
- 歳入に占める市税の割合は、政令市の中で19番目。【スライド86参照】
- 自主財源比率は、政令市の中で13番目。【スライド87参照】
- 財政力指数は、政令市の中で18番目。【スライド88参照】
- 市民1人当たりの市債残高（普通会計／臨時財政対策債を除く）は、政令市の中で最も高くなっている（政令市平均の約1.8倍）。【スライド90・91参照】